

平成26年度

飯能市教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成25年度事業)

<目次>

1 はじめに	1
2 点検評価の基本方針	1
3 飯能市教育行政の重点施策について	2
4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価	2 2
5 教育委員会の活動状況と評価	2 4
6 評価会での駿河台大学教授（学識経験者）の意見等	2 7
7 おわりに	2 8
※ 資料（各所属の評価結果）	2 9

平成26年8月22日

飯能市教育委員会

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）の一部改正により、平成20年4月からすべての教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないことになりました。（法第27条第1項）

この報告書は、飯能市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が法の規定に基づき、毎年度教育行政の基本方針として定めている「飯能市教育行政の重点施策」に関し、平成25年度に重点的に取り組んだ事業について、点検及び評価を実施した結果をとりまとめたものです。

2 点検評価の基本方針

（1）目的

教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価は、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的に実施するものです。

（2）点検評価の対象及び方法

教育委員会では、毎年度「飯能市教育行政の重点施策」を定めています。この重点施策は、教育委員会がその年度に重点的に取り組むべき施策として定めているものです。

この重点施策に基づき各所管で事業を展開し、その事業の成果等について教育委員会が定めた基準に基づき、教育委員会が自ら点検及び評価を実施するものです。

また、点検及び評価を通じて事業の成果等を明らかにするとともに、課題や今後の取組の方向性を明確にすることを目的としています。

点検及び評価の実施に当たっては、評価の客観性を確保する観点から学識経験者等の知見の活用を図ることが法に規定されており（法第27条第2項）、これを受けて教育委員会では、平成26年7月17日に「飯能市教育行政の重点施策の評価会」を開催し、駿河台大学の教授から評価結果に対するご意見をいただきました。

<飯能市教育行政の重点施策の評価会>

開催日：平成26年7月17日（木）

開催場所：飯能市役所本庁舎別館 会議室3

出席学識経験者：駿河台大学

法学部教授 秋池 宏美

経済経営学部教授 市川 紀子

3 飯能市教育行政の重点施策について

飯能市教育委員会では、平成25年度に取り組むべき重点施策を以下のとおり定めました。

なお、重点施策の該当項目の最後に、各所属が掲げている平成25年度の事業名と結果を表記しました。

<平成25年度飯能市教育行政の重点施策>

基本理念 「共に学び 未来を拓く 人づくり」

目 標 「飯能を愛し、夢や希望をもち明るく元気に学び実践する人づくり」

合 言 葉 「共育」 — 自主・責任・連携 —

基本方針

- | | |
|-----|---------------------------------------|
| I | 生きる力を育成する学校教育に取り組みます。 |
| II | 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます。 |
| III | 地域の特色を生かした体験を重視し、家庭・地域と連携した教育に取り組みます。 |
| IV | 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます。 |
| V | スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます。 |

I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます

1 生きる力を育む教育指導の充実

(1) 確かな学力を育む教育の充実

① 「わかる喜び・できた喜び・成長した喜びを実感させられる授業づくり」の推進

- ・新学習指導要領の完全実施を着実に進めます。
- ・K4KID宣言※に基づき、指導内容・指導方法の更なる工夫改善を進めます。

※K4KID宣言とは、学校と家庭・地域が連携して取り組むことを目指した、飯能市独自の学力向上のための宣言。授業改善の視点K4（課題・活動・確認・価値）と家庭での取組KID（家庭学習・あいさつ・読書）を明示した。

② 学習状況を把握し改善に向けた取組の推進

- ・「全国学力学習状況調査」「埼玉県小・中学学習状況調査」「教育に関する3つの達成目標」等の結果の分析に基づく学習改善を進めます。
- ・K4KID宣言に基づき、読書活動を重点に、学校と家庭が連携した学力の向上の取組を推進します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	学力の向上	<達成率 92%>	<B評価>
H21からの継続目標		○「教育に関する3つの達成目標」 ・読み書き 小93.7%、中91.3% 小中達成率92.5% ・計算 小95.1%、中89.6% 小中達成率92.4%	達成目標である95%に近い結果が得られたため概ね期待どおり。
事業名	学力向上プロジェクトの推進	・飯能西中で20回研究授業・34人指導者派遣 ・小4向け算数ワークシートの作成・全児童配布 ・K4校内研修プログラムを10校で実施（来年度で全校実施予定）	

(2) 社会の変化に対応した教育内容の充実

① 伝統と文化を尊重する教育の推進

- ・郷土学習資料「私の誇るふるさと 飯能」の活用を各校の年間指導計画に位置付け、郷土を愛する心の育成を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	飯能を好きな（誇りに思う）児童の育成	<達成率98%>	<B評価>
H23からの継続目標		○飯能を好きな（誇りに思う）児童 5年生：70.8% （前年比△6.8%） 達成率94.4%達成 6年生：76.7% （前年比+4.0%） 達成率102.3% 小中合計：達成率98.4%	飯能を好きな児童が育っており期待どおり。
事業名	郷土を愛する教育の推進	・郷土学習資料「私のふるさと飯能」活用事例集第2版3月配布予定	

② 国際理解教育の推進

- ・豊かな国際性を身に付ける国際理解教育を進めます。

③ 環境教育の推進

- ・すべての学校で学習林を活用した学習を進めます。

④ 情報教育の推進

- ・情報機器を整備し、情報活用能力と情報モラルの育成を進めます。
- ・教育機器を活用した授業づくり、テレビ会議システムを活用した授業づくりを進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		テレビ会議を活用した授業の導入	<達成率155%> ○授業実践実施校の年度末評価において、肯定評価93.1%	< S 評価 > 授業実践校から高い満足度の評価が得られ、期待を上回る。
事業名	H24からの継続目標 教育機器を活用した授業づくりの推進			

⑤ キャリア教育の推進

- ・生き方指導としての進路指導・キャリア教育を進めます。

(3) 心の教育の充実

① 人権教育の推進

- ・基本的な人権を尊重する教育を進めます。
- ・「飯能市いじめゼロ子ども会議」をはじめ、いじめの根絶に向けた取組を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		飯能市全体としていじめ根絶に向けた取組の推進	<達成率100%> ○第2回「飯能市いじめゼロ子ども会議」実施後、児童会・生徒会等の取組を ・各校が学校だより等で保護者・地域に発信 ・全校の取組を冊子にまとめ、各校に配布	< B 評価 > 会議に基づいた各校の取組を共有でき、期待どおり。
事業名	新規目標 いじめの根絶に向けた取組の推進			

② 道徳教育の推進

- ・「おはよう、こんにちは、さようなら、ありがとう」というあいさつと感謝の言葉がかわせるような子どもの育成を進めます。
- ・道徳教育推進教師を中心とした、学校教育活動全体での道徳教育を進めます。

③ 教育相談活動の推進

- ・児童生徒一人ひとりに応じた生徒指導・教育相談を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	不登校児童生徒の減少	<達成率105%>	< A 評価 >
事業名 新規目標			
事業名 不登校の減少に向けた取組の推進		<p>○ 2学期末現在、不登校児童生徒数 小：5名（在籍率0.13%） 中：30名（在籍率1.53%） 【参考】 小：前年0.31% 中：前年1.76%</p> <p>・学校訪問／相談員24回、スーパーバイザー11回 ・所長講話4回</p>	不登校生徒の在籍率を減少させることができ、期待を上回る。

④ ボランティア・福祉教育の推進

- ・ボランティア・福祉教育にかかわる教育活動を進めます。

⑤ 特別支援教育の推進

- ・特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育を進めます。

(4) 健康・体力の増進と安全教育の充実

① 健やかな体を育む教育の推進

- ・「早寝、早起き、朝ごはん」運動を推進し、子どもの生活リズムの向上を進めます。
- ・体力・健康に関する指導について研究を実践し、その成果を各学校に広め体力向上を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	体力の向上	<達成率90%>	< B 評価 >
事業名 H20からの継続目標			
事業名 体力向上の推進		<p>○体カテストの絶対評価で上位3ランク（A、B、C）の児童生徒の割合 小79.6%→達成率99.5% 中83.8%→達成率98.6% ○体カテストの結果で全国平均を上回っている項目数の割合（同程度） 小56.6%→達成率70.8% 中63.6%→達成率79.6% ・新体カテスト再測定による課題種目の向上率91%</p>	目標を概ね達成したので期待どおり。

② 安全教育の推進

- ・自他の生命を尊重する安全教育を進めます。
- ・地域と連携し、児童生徒の防災意識の向上と「状況適応能力」を育成する防災教育を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		防災教育における児童生徒の「状況適応能力」の研究	＜達成率100%＞	＜B評価＞
事業名	新規目標		○研究のまとめ完成（2月） ・関係機関と連携した児童生徒の「状況適応能力」の育成のための研修会実施（2月）	目標を達成したので期待どおり。
	児童生徒の「状況適応能力」を育成する防災教育の推進			

③ 食育の推進

- ・学校給食における地場産物の活用を推進し、食に対する理解、関心を高め、食育を進めます。

2 幼稚園・学校経営の充実

(1) 特色ある幼稚園・学校づくりの充実

① 学習林活用教育の推進

- ・すべての学校で学習林を活用した学習を進めます。【再掲】

② 小規模校の特色を生かした教育の推進

- ・恵まれた環境と少人数の良さを生かした教育を進めます。

③ 学校・家庭・地域が連携した教育の推進

- ・各学校の学校応援団を整備し、学校応援団を活用した連携を進めます。

④ 総合的な学習の時間の推進

- ・地域の人材や施設を活用した教育活動を進めます。

(2) 校種間連携の充実

① 幼稚園、保育所、小学校の連携の推進

- ・幼保小の連携体制を確立し、校区の課題を明確にした連携を進めます。

② 小学校、中学校の連携の推進

- ・小学校、中学校の連携体制を確立し、校区の課題を明確にした連携を進めます。
- ・授業を通じた連携を進めます。
- ・中学校区単位で、9年間で育てる「子ども像」を明確にした取組を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		「連携型」小中一貫教育の研究	＜達成率100%＞	＜B評価＞
事業名	新規目標		○新たに推進委員会設置 ・南高麗中学校区 音楽出前授業（5・6年対象、月2回）、指導系統表作成中 ・名栗中学校区 A E Tの幼稚園訪問、小6・中2合同授業（英語） ○先進地視察：茨城県つくば市（11/22・23）	研究推進が着実に進められており期待しております。
	中学校区における9年間で育てる「子ども像」を明確化した取組の推進			

- ③ 中学校、高等学校の連携の推進
- ・上級学校訪問を充実します。

（3）小規模校における教育活動の充実

- ① 小規模校の特色を生かした教育の推進
- ・恵まれた環境と少人数の良さを生かした教育を進めます。【再掲】
- ② 小規模特認校制度の推進
- ・制度の周知方法を工夫し、制度の利用増を図ります。
- ③ 複式学級設置校の教育課程の工夫の推進
- ・集団学習の指導方法の工夫改善を進めます。
 - ・「完全複式※」に対応できる教育課程について研究を進めます。
- ※完全複式とは、低・中・高学年の隣接学年がすべて複式学級となった状態です。

3 教職員の資質の向上

（1）教育センターを中心とした教職員研修の充実

- ① 職責に応じた研修の推進
- ・教職員の指導力の向上を図るため、教育センター研修を計画的に進めます。
 - ・ライフステージに応じた教職員の資質向上のための研修会の充実を図るとともに、市全体の教育課題解決のための実践的な研究委嘱のあり方について検討します。
 - ・教職員倫理の確立のため、事故防止委員会を中心とした取組を進めます。
- ② 外部機関との連携による研修の推進
- ・市内の大学と連携し、専門的な指導力の向上を図る研修を進めます。

（2）人事評価制度の充実

- ① 教職員評価システムの推進
- ・人事評価に関する研修を実施し、教職員評価システムの信頼性を高め学校の活性化を進めます。

Ⅱ 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます

1 学校施設の整備

(1) 学校施設の整備の推進

① 校舎等の耐震化の推進

- ・原市場中学校校舎、飯能西中学校屋内運動場の耐震補強工事の実施と飯能西中学校校舎、加治小学校及び吾野中学校の屋内運動場耐震補強工事の設計を実施します。
- ・継続事業の飯能第一中学校校舎耐震補強工事を完了します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課		<達成率 100%>	< B 評価 >
H23からの継続目標			
事業名 小・中学校耐震補強改修事業	平成24年度から継続事業の飯能第一中学校校舎耐震補強工事を完了させる。原市場中学校校舎、西中学校屋内運動場の耐震補強工事を実施する。また、飯能西中学校校舎、加治小学校、吾野中学校屋内運動場の耐震補強工事のための設計を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・飯能第一中学校校舎の工事は予定どおり完了した。 ・原市場中学校校舎の工事は空調機、トイレの工事が予定より遅れた。西中学校屋内運動場の工事は2月に完了した。 ・設計については、西中学校校舎、加治小学校屋内運動場の設計変更があり、完了が予定より遅れた。 	予定していた工事・設計が完了したので期待どおり。

② 安全に配慮した施設の管理と改修の推進

- ・南高麗小学校のプール改修工事等を実施します。
- ・学校施設の老朽化に伴い、計画的な改修を行います。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課		<達成率100%>	< B 評価 >
H23からの継続目標			
事業名 小学校施設管理事業 中学校施設管理事業	学校施設の老朽化に伴い、緊急性や予算額を踏まえた計画的な改修を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み工事として、南高麗小、東吾野小の受水槽取替え工事、南高麗中学校舎外壁等改修工事は予定どおり完了した。 ・精明小、名栗中の受水槽取替え工事は冬休み工事としたが、精明小の工事は予定より遅れた。 	予定していた工事が完了したので期待どおり。

③ 社会の変化に応じた学習環境の整備

- ・飯能第一中学校ほか2校の学校給食調理業務を民間委託します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
教育総務課		平成25年4月から民間委託を導入した飯能第一中学校ほか2校の給食調理業務委託を円滑に進め、民間委託でも安心・安全な学校給食の提供を行う。 平成26年度から美杉台中学校に民間委託を導入する。	<達成率100%>	<B評価>
事業名	H23からの継続目標 学校給食民間委託事業		・平成25年度から委託を導入した中学校3校の給食調理業務を概ね順調に進めることができた。 ・12月12日の見積提出会で美杉台中の委託業者が決定し、4月の委託開始に向けて準備を進めた。 ・平成27年度に委託を導入する3施設を決定した。	民間委託を導入した3校の調理業務が順調に進み、次の委託に向けた準備も予定どおり進めることができたので期待どおり。

2 就学援助の推進

(1) 就学援助の推進

① 利用しやすい奨学金制度への見直し

- ・奨学金の未納額を減らすための対策に取り組めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
教育総務課		奨学金返還金の未納が多額になっている状況のため、未納を減らすための対策を講じて未納額を前年度より減らす。	<達成率95%>	<B評価>
事業名	新規目標 奨学金貸付事業		・未返還者については、未返還金額を一括で返還するよう、訪問、電話、文書による督促を行った。また、督促に返答のない者については、連帯保証人に対し督促を行った。 ・休日返還窓口を3回開設した。 ・平成25年度末の未納額は17,255,114円で、昨年度末に対して、1,719,500円減少した。	返還請求を行い、未納額を減額できたので期待どおり。

② 高額な通学費への支援

- ・保護者負担を軽減するための「飯能市高等学校等通学費補助金」を実施します。

Ⅲ 地域の特色を生かした体験を重視し、家庭・地域と連携した教育に取り組めます

1 家庭教育・地域教育の推進

(1) 家庭教育・地域教育の推進

① 家庭の教育力の向上

- ・ K4KID宣言に基づき、読書活動を重点に、学校と家庭が連携した学力の向上の取組を推進します。【再掲】
- ・ 小学生を対象に通学合宿を実施し、感謝の心を育み、あいさつと早寝早起き朝ごはんの習慣が身につくよう取組めます。

IV 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます

1 生涯学習推進体制の整備

(1) 学習環境の整備

① 学習施設の整備

- ・新図書館を開館し、飯能市図書館サービス・運営計画に定めるサービスを実践して多様な学習ニーズに応えます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		平成25年7月に新図書館を開館させるための準備を行う。	<達成率105%>	< A 評価 >
事業名	新規目標			
	新図書館の開館		<ul style="list-style-type: none"> ・予定した事業についてはすべて達成指標を満たすことができた。 ・職員の業務研修については、目標を上回る研修実施ができた。 	すべて予定どおり達成することができ、期待どおり。

② 学習情報の提供

- ・市の広報やホームページのほか地元新聞やケーブルテレビ等を活用し、幅広く学習情報を提供します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		各種資料、情報源を提供し、利用者の調査・研究活動を支援する態勢を整える。	<達成率110%>	< A 評価 >
事業名	新規目標			
	資料・情報提供の充実		<ul style="list-style-type: none"> ・3月末までの受入冊数は1万冊を超え受入冊数目標を達成した。 ・雑誌スポンサー事業は目標額の75%の達成率であったが、不足額の約51倍の寄附金をいただき蔵書の充実が図れた。 ・ボランティアの協力により寄贈資料リサイクルを実施した。 ・その他の事業も目標を達成した。 	達成指標のほか新サービスを開始することができ期待を上回る。

(2) 生涯学習ネットワークの構築

① 教育機関との連携

- ・市民の多様な学習ニーズに応えるため、駿河台大学と連携し、大学公開講座を開催します。

2 生涯学習機会の充実

(1) ライフステージに応じた学習機会の充実

① 多様な学習機会の充実

- ・市の専門的知識を提供することにより、市民の生涯学習の一助とするとともに

に市民の積極的なまちづくりへの参加を促すため、生涯学習出前講座を充実します。

②公民館活動の充実

- ・公民地域の資源の活用や地域住民との協働により、地域ニーズに合った講座を展開します。
- ・公民生涯学習の推進のため、生涯学習課や他部署と連携し、地域ニーズに合った情報発信を進めていきます。
- ・学校や各種団体との連携による講座を開催します。
- ・ウォーキング講座などを開催し、ウォーキング人口の拡大を図ります。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
公民館	地域課題や社会の変化に応じた公民館の講座を開催する。	<達成率100%>	< B 評価 >
事業名 H22からの継続目標 学級講座の充実		中間報告のほか、国宝と歴史のまち探訪、帰宅困難者体験ウォーキング、野菜いっぱい創作料理講座、太極拳体験講座、交通安全教室、施設見学会、機織り体験講座などを開催した。	それぞれの館で工夫を凝らして開催することができ、期待どおり。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
公民館	生涯学習の推進のため、市民への情報発信を積極的に行う。	<達成率90%>	< B 評価 >
事業名 H22からの継続目標 学習相談体制の充実		公民館だよりの発行のほか、申告講座、交通安全出前講座、防災講座、リサイクル講座、出張名作映画会などを開催した。生涯学習課と連携した出前講座は実施できなかった。	他課との連携を深める必要はあるが、事業の情報発信が図られており概ね期待どおり。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
公民館	学校や青少年関係団体、地域の団体などと公民館が連携した事業を行う。	<達成率 95%>	< B 評価 >
事業名 H24からの継続目標 学校との連携		加治東ふれあい広場と連携した介護関係講座や児童館との連携による子ども映画会、体験交流会として工作、料理、天体観察を実施した。ロッククライミング教室、名栗広場との共催事業不思議で楽しい山の話講座などを開催した。	目標を概ね達成できたので期待どおり。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
公民館		ウォーキング事業を積極的に実施し、新たな参加者の拡大を図る。	<達成率 105%> 様々なハイキング、ウォーキング事業を単独事業として、また、各館との共催事業として実施した。 新規参加者については、全体数では、目標値を達成したが、各々の館の達成値については、達成できなかった館もある。 全体の目標値は、418人であったが、681人の参加を得た。	< A 評価 > 目標値を上回る参加者があったため期待を上回る。
事業名	H22からの継続目標 健康増進講座の充実			

③ 図書館活動の充実

- ・課題解決に役立つ各種資料・情報源を提供し、職員が利用者の調査・研究活動を支援します。
- ・郷土館、議会図書室などと連携し、利用者の調査・研究活動を支援します。
- ・飯能に関するニュースを収集・整理して公開します。
- ・図書館ボランティアを募集し、市民とともに図書館運営を行っていきます。
- ・「飯能市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組計画の実践と推進をします。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		郷土館・議会図書室と連携し、利用者の調査・研究活動を支援する態勢を整える。	<達成率75%> ・郷土館・体育課との連携事業は順調に実施できた。 ・飯能に関する新聞記事見出しの配信が実施できなかった。 ・その他の議会事務局との連携事業は目標を達成した。	< C 評価 > 連携事業が一部未実施であったため期待を下回った。
事業名	新規目標 郷土館・議会図書室との連携			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		飯能に関するニュースを収集・整理して公開する。	<達成率90%> ・文化新聞の過去2年分の飯能に関する記事見出しデータを図書館ホームページで公開した。 ・文化新聞以外の飯能に関する新聞記事はスクラップしたがデータ入力に着手できなかった。 ・昭和27年から昭和59年までの文化新聞を電子書籍化し、平成26年4月からインターネット上で公開する予定。	< B 評価 > 一部着手できなかった項目があったが、ほぼ期待どおり。
事業名	新規目標 飯能に関するニュースの収集			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		図書館ボランティアを募集し、協働して図書館運営を行う。	<達成率 110%> ・メンバーが映画会、おはなし会の開催、図書館ニュースの編集などの事業を中核となって企画・運営したほか、読書グループの立ち上げ、生涯学習フェスティバルへの参加など新規の活動にも意欲的に取り組んだ。 ・図書館協議会委員にグループの代表者を1名選出した。 ・ボランティア向けの図書館情報研修会を3回実施した。	< A 評価 > 積極的な協働運営により目標達成がスムーズであったため期待を上回る。
事業名	新規目標 図書館ボランティアとの協働			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		「飯能市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館・保育所などと連携して読書活動を推進する。	<達成率 100%> ・図書館見学・出前講座は目標値を達成した。 ・6月に学校図書主任を対象とした新図書館の説明会を実施したほか、10月に校長研修会で読書が児童に与える影響について講演を行った。 ・3月に調べ学習用図書セットを購入し学校への貸出しを開始した。	< B 評価 > すべて目標どおりに達成できたため期待どおり。
事業名	新規目標 学校図書室等との連携			

④ 世代別学習機会の充実

- ・子どもの学ぶ力や生きる力の向上と大学との連携による地域の教育力の向上を目的に、子ども大学（仮称）開催に向け関係機関と調整します。
- ・小学生を対象に地域の大人や学生スタッフと協力して通学合宿を実施し、世代間交流を図ります。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		子ども大学（仮称）を平成26年度に開校する。	<達成率110%> 駿河台大学等の関係機関と打合せし（6回）、実行委員や開催内容（案）を確定した。また、子ども大学さやまを視察し、開催に際しての注意事項等のアドバイスをいただいた。	< A 評価 > 開催に向けて準備ができたので期待を上回る。
事業名	新規目標 子ども大学（仮称）開催準備			

（2）現代的課題に関する学習機会の充実

① 人権に関する学習機会の充実

- ・様々な人権問題についての理解を深めるための講座を開催するとともに、地域で人権意識の高揚と啓発を行うための指導者養成を図ります。

3 地域学習の充実

（1）市民文化活動の推進

① 市民文化活動の奨励

- ・市民の文化・スポーツ活動において優秀な成績を収めた個人・団体に対して文化スポーツ奨励金を交付し、活動を支援します。
- ・市民の文芸創作活動を促すとともに、市民文化の向上を図るため、文藝飯能を刊行します。また、市民を対象に文芸入門講座を公民館と共催で開催します。

（2）自然・歴史・文化遺産の継承と活用

① 地域資料の調査、保存と活用

- ・文化財刊行物や文化財関係資料を活用した文化財めぐり、文化財講座を実施し、市民が文化財に親しむ土壌を作ります。また、5ヶ年計画で実施してきた植物調査の成果をまとめます。
- ・埋蔵文化財の室内整理作業を積極的に進めることで埋蔵文化財を利用できる状況にし、普及活用を図ります。また、埋蔵文化財出土品の展示、小中学校

への出張授業、市民への講座の開催、中学校の社会体験チャレンジの受け入れなどを実施します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課			< 達成率 80 % >	< C 評価 >
事業名	新規目標	平成 21 年度 から 5 ヶ年計画で、市内の植物の生育状況を調査してきたものを最終年度である本年度は、その調査結果を報告書として取りまとめる。	<p>補足調査を2回行い、河川敷や水田における秋の希少種の生態確認を行った。(10/21、11/18)</p> <p>また、報告書の作成に向け、市内を8地区(飯能・精明・加治・南高麗・吾野・東吾野・原市場・名栗地区)に分けて取りまとめを行った。</p> <p>報告書の構成等について、編集会議を行った。(1/25、2/22、3/10)</p> <p>報告書の印刷原稿まで完成したが、100部の印刷・製本まで至らなかった。</p>	報告書が作成できなかったので期待を下回る。
	植物調査の実施及び調査成果のまとめ			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課			< 達成率 110 % >	< A 評価 >
事業名	H24からの継続事業	<p>国庫補助事業として実施した3箇所の発掘調査について、室内調査を進め、「飯能の遺跡(41)」としてまとめる。</p> <p>区画整理事業に伴って、平成23・24年度に発掘調査を実施した遺跡の室内調査を計画的に進め、平成27年度に報告書が刊行できるようにする。</p> <p>室内調査の10カ年計画に沿って、計画的に調査を進める。</p>	<p>11月に国庫補助事業の予算が不足し、増額交付を受ける2月まで、事業を止める必要が生じ、更に民間開発事業に伴う発掘調査が入ったため、室内調査の内容の変更を余儀なくされた。</p> <p>平成26年度刊行予定の「飯能の遺跡(42)」の掲載遺跡を「飯能の遺跡(41)」として報告書を刊行した。当初「飯能の遺跡(41)」に掲載予定の3遺跡については、全体の6割程度は整理作業を進めることができ、全体としては年度当初の計画を達成することができた。</p> <p>区画整理事業関連の室内調査については、当初の計画通り順調に進んでいる。</p>	予定どおり報告書を刊行し、室内調査が実施できたので期待を上回る。
	出土品等の計画的な室内調査の実施			

② 郷土館活動の充実

- ・特別展「飯能の災害史(仮称)」を開催し、その充実を図ります。

- ・名栗くらしの展示室を設置し、体験学習会等の事業を開始します。
- ・古文書、民具、古写真などの収蔵資料の整理を推進します。
- ・ホームページ等を活用し、地域の歴史情報を積極的に発信します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
郷土館		特別展「飯能の災害史（仮称）」の充実を図る。	<達成率 120%> 49日間の会期中、のべ5,680人、1日平均119.6人と多くの入館者があった。これまでに比べ若い世代の入館者が多かった。アンケートによる満足度は89.6%、防災意識を持った人が85.7%と予想以上に好評で、新聞等にも多く取り上げられた。	< S 評価 > 目標値を顕著に上回り、かつ新聞紙上にも取り上げられ、期待を上回る。
事業名	新規目標 特別展の充実			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
郷土館		名栗くらしの展示室を設置し、体験学習会等の事業を開始する。	<達成率100%> 下半期になって展示工事の手続き等で事業が遅れたが、1月以降、重点的に業務を行い、展示室は予定通り完成した。また、3回の機織り体験講座を実施し、毎回30人程度の参加者を得た。	< B 評価 > 計画どおりに進めることができ、期待どおり。
事業名	新規目標 名栗くらしの展示室の設置			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
郷土館		古文書、民具、古写真などの収蔵資料の整理を推進する。	<達成率80%> 民具分類のデータ入力のチェックはできなかった。古写真は合計110点の整理ができ目標を達成したが、古文書については100点しか整理が進まなかった。	< C 評価 > 収蔵資料の整理がはかどらず、期待を下回る。
事業名	H20からの継続目標 収蔵資料整理の推進			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
郷土館		ホームページ等を活用し、地域の歴史情報を積極的に発信する。	<達成率90%> 10月に「飯能の災害史年表」を掲載したが、他の2項目は準備をすすめてはいたものの、掲載できなかった。しかし、館内の業務や日々の出来事を紹介する「郷土館日誌」の掲載を始めた。また、「麦づくり」のページに11月は6,845件のアクセスがあり、これは市のページのうち4番目に多いアクセス数だった。	< B 評価 > 一部計画どおりに進まなかったが、概ね計画どおりでありほぼ期待どおり。
事業名	H19からの継続目標 地域の歴史情報の積極的な発信			

③ 市民主体による地域活動の支援

- ・郷土芸能保存会による伝統芸能の活動や郷土芸能講習会の開催を通して、市民自らが地域の歴史や文化を伝承できるよう活動を支援します。

4 学習成果の還元

(1) ボランティア活動への支援

① ボランティアの育成と活動支援

- ・青少年育成飯能市民会議と各地区青少年健全育成の会との関係を整備します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		青少年育成飯能市民会議と各地区青少年健全育成の会との関係を整備する。	<達成率100%>	<B評価>
事業名	新規目標		来年度から、各地区青少年健全育成の会への補助金は、青少年育成飯能市民会議から各地区の状況を考慮して支出することとした。 地区健全育成連絡会において各健全育成の会に説明を行った。	達成目標を概ね達成したので期待どおり。
	青少年育成団体の整備			

(2) 人材の養成・団体への支援

① 指導者登録制度の充実と活用

- ・市民の様々な学習要求に応えるため、生涯学習人材バンクを活用します。

(3) 学習成果を生かすしくみの整備

① 発表の場の提供・充実

- ・市民の様々な学習活動の成果発表ならびに交流の場として、生涯学習フェスティバルを開催します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		若い世代を取り込み、今まで以上に世代間交流を図れる生涯学習フェスティバルを実施する。	<達成率100%>	<B評価>
事業名	H20からの継続目標		高校生のボランティアの参加により、当日の受付付近は活気があったが、思ったより若い世代の参加が少なかった。 また、新たなアイデアにより開催時期等にふさわしい内容で実施することができ、来場者は550人だった。	高校生ボランティアも関わり世代間交流が図られたので期待どおり。
	生涯学習フェスティバルの実施			

V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます

1 健康体力づくり事業の充実

(1) 公民館を拠点とした活動の推進

① 健康体力づくりの展開

- ・幅広い年齢層に対応した魅力ある健康体力づくり事業を展開します。

② ウォーキングのまちづくり

- ・公民館を拠点としたウォーキングの取組を推進します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
体育課		<達成率100%>	< B 評価 >
H23からの継続目標			
事業名 ウォーキングを基にした健康体力づくりの推進	公民館を拠点としたウォーキングの取組を強化するとともに、幅広い年齢層に対応した魅力ある健康体力づくり事業を展開する。	<ul style="list-style-type: none"> ・エクササイズウォーキング 3回開催 参加率63% 前年度比 24%減 ・ワンデーレッスン 7回開催 参加率116% 前年度比 51%増 ・体験コース 3回開催 参加率83% ・バランスDE若さアップ 6回開催 参加率82% 前年度比 21%増 ・広報はんのう、市HP及びチラシを作成し参加者募集を行った。 ・公民館の文化祭で体組成計を使った健康アドバイスを行った。 	達成目標を概ね達成したので期待どおり。

(2) スポーツイベントの充実

① 飯能新緑ツーデーマーチ

- ・市民の参加を促すとともに、全国から訪れるウォーカーをおもてなしの心で迎え、飯能の魅力を高めていきます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
体育課		<達成率110%>	< A 評価 >
H20からの継続目標			
事業名 飯能新緑ツーデーマーチ	全国から訪れる多くの参加者に満足してもらえるよう、安全で快適なツーデーマーチを実施する。また、第12回大会に向けた企画案を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・コース部会によるコース下見を実施し、12月に12回大会のコースを決定した。 ・2月に統括部会、実行委員会を開催し、参加者20,000人を目指した大会計画が決定した。 ・3月1日(土)から事前申込の募集を開始した。 ・新たな参加者の確保を目指した事業(ヤマノススメ、近隣自治体ご当地グルメ等)を検討し準備を進めた。 	新たな企画を取り入れることで、前回は上回る参加があり、期待を上回る。

② 奥むさし駅伝競走大会

- ・市民のスポーツ意識の向上を図るとともに、競技性の高い魅力的な大会を目指します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
体育課		安全で競技性の高い第12回奥むさし駅伝競走大会を実施する。	<達成率100%>	<B評価>
H20からの継続目標	・出場チームの上限220チームに対し、241チームの応募があったため、競技規程に基づき選考した。 ・前回大会の反省を踏まえ、各部会で大会運営の検討を行った。 ・大会役員、競技役員、走路・周辺警備員及び多くの関係団体の協力により、競技上の事故も無く、盛大に開催することができた。		目標を達成でき、期待どおりであった。	
事業名	奥むさし駅伝競走大会			

(3) 生涯スポーツ推進体制の整備

① スポーツ・レクリエーション団体等の活動支援

- ・NPO法人飯能市体育協会に補助金を交付し、各種スポーツ・レクリエーション団体の活動を支援します。また、全国大会出場などの有望選手及び団体へスポーツ奨励金を交付し、活動を支援します。

② スポーツ教室等の開催

- ・市民スポーツ・レクリエーション活動を促進するため、NPO法人飯能市体育協会にスポーツ教室及びスポーツイベントを委託し、開催します。

③ ホッケーのまちづくり

- ・「ホッケーのまち飯能」推進計画に基づき、小・中学校のホッケー授業の充実を図るとともに、競技団体・教育委員会それぞれの主体的な取組により、ホッケーのまちづくりを推進します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
体育課		「ホッケーのまちづくり」の理念及び基本目標を達成するため、教育委員会が担う各事業を推進する。	<達成率110%> ・巡回ホッケー教室 小学校：12校 中学校：8校 高校：1校 中学生放課後：1クラブ ・全8中学校で先生との事前調整を行い、中学1年生5時間を基本とし授業を行った。 ・市HPや図書館のホッケーコーナーを利用し、ホッケーのまち飯能をPRした。 ・ホッケーのまち飯能推進懇話会を開催し、競技団体、学校関係者とともに意見交換を行った。	< A 評価 > ホッケーのまちの基盤づくりの施策を講じたため、期待を上回る。
事業名	新規目標 ホッケーのまちづくり			

2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上

(1) スポーツ施設の計画的な修繕の実施

① 施設修繕計画の策定

- ・スポーツ施設の安全な運営を確保するため、修繕計画を作成し計画的に修繕を実施します。

(2) スポーツ施設の効果的な管理運営

① 利用者サービスの向上

- ・利用者ニーズを捉えた効果的な管理運営を進め、施設の利便性を向上します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
体育課		都市公園運動施設のサービス向上を図るため、指定管理者による管理運営を進める。	<達成率105%> ・市民球場の休場月である12月と3月を開場した。 ・美杉台公園3施設の月曜日開場を行った。 ・市民体育館事務室窓口改修工事を行った。 【指定管理者更新事務】 ・10月10日の指定管理者選定委員会で候補者が選定され、12月定例会の指定議案の議決を経て、2期目の指定管理者を指定した。 ・指定管理者との協議を進め、基本協定書を3月末日に締結した。	< A 評価 > 計画どおりに目標を達成し、市民サービスの向上に向けた取組ができたため、期待を上回る。
事業名	新規目標 都市公園運動施設の指定管理			

4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価

(1) 総括

平成25年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果は、次のとおりです。

「期待を上回る（A評価）」と「期待どおり（B評価）」に事業を実施できた割合は、全35事業中30事業あり、全体の85.7%を占めました。また、「期待を顕著に上回る（S評価）」が2事業ありました。一方、「期待をやや下回る（C評価）」は3事業でした。全体としては、良好な事務執行ができたと評価できますが、C評価の事業については、目標を達成できなかった原因等を明らかにし、改善等を図る必要があります。

<集計表>

所管課	評価結果の内訳（事業数）					事業数合計
	S	A	B	C	D	
教育総務課	0	0	4	0	0	4
学校教育課・ 教育センター	1	1	6	0	0	8
生涯学習課	0	2	2	1	0	5
体育課	0	3	1	0	0	4
図書館	0	3	2	1	0	6
公民館	0	1	3	0	0	4
郷土館	1	0	2	1	0	4
事業数合計	2	10	20	3	0	35
H24との比較	1	△4	2	△1	0	△2
評価の割合	5.7%	28.6%	57.1%	8.6%	0.0%	100.0%
H24との比較	3.0%	△9.2%	8.4%	△2.2%	0.0%	

(参考) 平成24年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果

	S	A	B	C	D	事業数合計
事業数	1	14	18	4	0	37
評価の割合	2.7%	37.8%	48.7%	10.8%	0%	100.0%

(参考) 評価の基準

評価点	達成割合	説明
S	120%以上	期待を顕著に上回る
A	105～120%未満	期待を上回る
B	90～105%未満	期待どおり (標準)
C	75～90%未満	期待をやや下回る
D	75%未満	期待を下回る

(2) 各事業の評価状況

各所属の評価結果については、29ページ以降に掲載しています。

5 教育委員会の活動状況と評価

平成25年度の教育委員会の主な活動状況は、以下のとおりです。

【主な活動状況】

	項 目	回数等	活動内容等
教育委員会の活動	教育委員会会議の開催回数 (臨時会を含む)	14回	定例会及び臨時会の開催 定例会(12回) 臨時会(2回)
	教育委員会会議の傍聴者の状況	3人	
	議事録の公開、広報・広聴活動の状況	—	議事録(概要)、会議日程をホームページに掲載
	教育委員の研修会への参加状況	3回	「入間地区教育委員会連合会視察研修」ほか
	学校・所管施設訪問	6か所	小学校3校、幼稚園、公民館2館

	項 目	回数等	活動内容等
会議の内容	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	3議案	「教育行政の重点施策について」ほか
	教育委員会要綱の制定及び一部改正、又は改廃すること	4議案	「飯能市立小・中学校給食献立作成委員会設置要綱の一部を改正する告示(案)について」ほか
	教育委員会規則・規程の制定及び一部改正、又は改廃すること	5議案	「飯能市立名栗幼稚園条例施行規則の一部を改正する規則(案)について」ほか
	教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	8議案	「平成25年度飯能市一般会計補正予算教育費(案)について」ほか
	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること	0議案	
	人事に関する事	8議案	「平成26年度飯能市教育委員会事務局等管理職人事(案)について」ほか
	その他	6議案	「奨学生の決定について」ほか
	合 計	34議案	

【評価】

開かれた教育行政を推進するため、平成21年度から市ホームページを活用し、教育行政の重点施策や教育要覧（「飯能の教育」）の掲載及び会議日程や議事録（概要）等の情報提供に努め、教育委員会の透明性を高めることに努めました。

一方、今後も平成22年度から平成27年度までの計画である「飯能市教育振興基本計画」に基づき、計画的、効率的に教育行政の推進に努めるとともに、市長部局とさらに連携を強化して計画の実現に取り組んでいく必要があります。

なお、同計画において、施策の達成目標として数値化が可能なものについては、具体的な指標を掲げており、平成25年度現在の進捗状況は次のとおりです。

教育総務課

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成度 (%)	目標値
					平成27年度
校舎の耐震化率	82.4 %	84.3 %	92.2 %	92.2 %	100 %
屋内運動場の耐震化率	68.2 %	72.7 %	77.3 %	77.3 %	100 %

学校教育課

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成度 (%)	目標値
					平成27年度
基礎的・基本的な学習内容の達成率（教育に関する3つの達成目標）	94.2 % (小学6年生)	95.6 % (小学6年生)	94.4 % (小学6年生)	99.4 %	95 % (小学6年生)
	91.9 % (中学3年生)	89.9 % (中学3年生)	90.5 % (中学3年生)	95.3 %	95 % (中学3年生)
新体力テストで全国平均を上回る項目の割合	69.8 % (小学校)	75.0 % (小学校)	56.6 % (小学校)	75.5 %	75 % (小学校)
	61.1 % (中学校)	77.8 % (中学校)	63.6 % (中学校)	84.8 %	75 % (中学校)

生涯学習課

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成度 (%)	目標値
					平成27年度
公開講座延べ参加者数	7,293人	6,340人	4,633人	57.9%	8,000人
出前講座開催件数	170件(累計)	224件(累計)	276件(累計)	162.4%	170件(累計)

体育課

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成度 (%)	目標値
					平成27年度
スポーツ施設利用者数	288,852人	325,002人	283,115人	94.4%	300,000人
学校体育施設開放事業における利用者数	137,776人	137,573人	134,448人	84.0%	160,000人
ツアーマーチ参加者数	12,186人	13,072人	13,669人	75.9%	18,000人

公 民 館

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成度 (%)	目 標 値
					平成27年度
公民館利用者数	313,824人	320,046人	301,914人	89.1%	339,000人
公民館学習グループ数	535団体	582団体	575団体	84.6%	680団体
健康づくり推進事業数	98事業	77事業	89事業	120.3%	74事業

図 書 館

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成度 (%)	目 標 値
					平成27年度
蔵書数	262,535冊	268,414冊	274,682冊	91.6%	300,000冊
年間貸出数	311,821冊	309,710冊	372,321冊	84.2%	442,000冊
年間利用人数	71,413人	71,383人	91,761人	92.9%	98,800人
年間児童(0～18歳) 利用人数	22,924人	22,988人	28,812人	96.0%	30,000人

郷 土 館

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成度 (%)	目 標 値
					平成27年度
ホームページアクセス 月平均件数	635件	452.8件	470件	102.1%	460件
レファレンス※件数	118件	150件	161件	80.5%	200件
資料利用件数	121件	85件	150件	115.4%	130件
資料整理件数	188件	250件	210件	91.3%	230件
出張授業受講延べ人数	676人	443人	630人	57.3%	1,100人
入館者数	29,629人	28,566人	27,410人	97.9%	28,000人

※レファレンス…利用者の求めに応じ、その調査・相談等に対し資料等を使って援助すること。

6 評価会での駿河台大学教授（学識経験者）の意見等

点検・評価の客観性を確保する観点から、飯能市教育行政の重点施策の評価会を開催し、駿河台大学の教授2名から次のようなご意見をいただきました。

【評価について】

- ・各所管の評価結果については、概ね妥当である。
- ・可能な限り目標設定を数値化し、評価率との整合性を分かりやすく表記するべきである。
- ・評価シートは、市民が読んで理解しやすい表現を用い、プロセスから評価報告（結果）までの流れの中で客観的に合理性のある書き方で公表して欲しい。
- ・C評価のように、達成できなかった目標は次年度へ継続して設定するべきである。次年度へ継続目標としていない事業がいくつかあるようだ。
- ・評価の基準（評価点と達成割合）について、標準的な基準への変更を検討すべきである。達成割合が105%以上でないとA評価にできない理由が不明瞭である。
- ・継続目標が年度によって微妙に表現が変わっているところがあるため、第三者が読んだときに理解しにくくなっている。よって、年度間で比較ができるよう表現を統一し、進捗状況が分かるように工夫すべきである。

また、継続事業にもかかわらず、年度によって設定シートに掲げていたり消えていたりすることがあるため各所管で重点施策の一覧表を作成し管理すべきである。

【事業や目標設定について】

- ・基本方針の5つの柱のうち、「Ⅲ 地域の特色を生かした体験を重視し、家庭・地域と連携した教育に取り組みます。」はどの所管も目標の中に入れていない。この柱は、どの所管も関連が出てくると思われるので5つの柱はいずれかの所管が必ず入れるべきである。
- ・学校教育の中で「いじめ」に関する目標設定があったが、「いじめ問題」は様々な要因があり学校教育だけで解決できる問題ではないと思われる。しかし、もし目標設定するとすれば、人権教育や道徳教育といった視点に立つことと、達成方法や達成指標をどのように設定するかが課題となってくる。
- ・飯能市は姉妹都市であるアメリカ合衆国のブレア市との交流が30年以上も続いており、とても良い効果が出ていると伺っている。知らない市民が多いと思うので、これまでの交流等をまとめた冊子などを刊行し、情報発信する目標も掲げてみてはどうだろうか。
- ・教育はその環境が基本であり、それによって学ぶ側も教える側も大きく影響してくる。その点で、これまで以上に西川材の利活用を検討して欲しい。施設等の建物の木質化は、人にとってとても良い影響を与えてくれることを実感した。不登校や心のケ

アが必要な子どもたちにとっても良い影響が期待できると思う。

- ・子どもたちに対する租税教育や法務教育といった視点にも目を向けて欲しい。お金の使い方がわからない、またインターネットの普及で金銭トラブルに巻き込まれる学生が増えている。子どものうちからそういった教育が必要であると感じる。

- ・地域、大学、市との連携により人的交流を深められるような視点にも目を向けて欲しい。

7 おわりに

今年度で7年目となる教育委員会の点検・評価ですが、毎年「飯能市教育振興基本計画」に基づき中・長期的な視点に立って、本市の教育振興のための施策を着実に実現できるように各所管が目標を掲げ、事業展開を行っております。重点施策としては設定シートに表記されていない事業も各所管で確実に進めているところです。

しかしながら、今回の2人の学識経験者の方から、事業評価について「なぜこの結果で、この達成率なのか」など達成結果（報告）と達成率の関係を第三者に分かりやすく記述すること、また継続目標は単年度管理ではなく年度間で比較管理できるよう統一した表現を用い、各所管の目標を一覧表で管理するなど分かりやすくする必要があるのでのご指摘を受けました。

今後も教育委員会では、このようなご意見を踏まえ、点検・評価を通じて、課題等の改善に取り組み、市民に分かりやすい事業展開を図るとともに、引き続きより効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

平成25年度 教育行政の重点施策の評価結果

1. 教育総務課

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	教育総務課 基本方針 II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます 1 学校施設の整備	平成24年度から継続事業の飯能第一中学校校舎耐震補強工事を完了させる。原市場中学校校舎、西中学校屋内運動場の耐震補強工事を実施する。また、飯能西中学校校舎、加治小学校、吾野中学校屋内運動場の耐震補強工事のための設計を行う。	・飯能第一中学校校舎の工事は9月に完了させる。 ・原市場中学校校舎の工事は夏休み期間を中心に実施し、授業への影響を少なくする。 ・設計については、学校・委託業者との十分な調整を図る。	・飯能第一中学校校舎の工事を完了させる。 ・原市場中学校校舎の工事は10月に完了させる。西中学校屋内運動場の工事は1月に完了させる。 ・設計については、2月までの早い時期に完了させる。	<達成率 100%>	<B評価> 予定していた工事・設計が完了したので期待どおり。 <今後の課題等> ・平成27年度までに校舎、屋内運動場の耐震化を完了させる。 ・工事の遅れによる工期延長等がないよう学校、業者と十分な調整を行う必要がある。
	事業名 小・中学校耐震補強改修事業					
2	教育総務課 基本方針 II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます 1 学校施設の整備	学校施設の老朽化に伴い、緊急性や予算額を踏まえた計画的な改修を行う。	・緊急性のある改修工事を実施する。 (平成25年3月補正予算で繰越した南高麗小学校ほか3校受水槽取替工事、南高麗小プール改修工事、南高麗中外壁改修工事等)	平成25年3月補正予算で繰越した南高麗小学校ほか3校受水槽取替工事等を計画どおりに完了させる。	<達成率100%>	<B評価> 予定していた工事が完了したので期待どおり。 <今後の課題等> ・施設の老朽化に伴う工事、修繕を計画的に行う必要がある。
	事業名 小学校施設管理事業 中学校施設管理事業					
3	教育総務課 基本方針 II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます 1 学校施設の整備	平成25年4月から民間委託を導入した飯能第一中学校ほか2校の給食調理業務委託を円滑に進め、民間委託でも安心・安全な学校給食の提供を行う。 平成26年度から美杉台中学校に民間委託を導入する。	・年度初めに試食会を行うなど、準備に万全を期す。 ・委託業者、学校との定期的な打ち合わせを行う。 ・美杉台中については、説明会を教職員及び保護者に対して実施する。 ・業者選定を実施し、入札により年内に委託業者を決定する。	年間を通じて業務内容を確認し、問題点の指導、改善を行う。 美杉台中の民間委託については、年内に委託業者を決定し、平成26年度から導入する。	<達成率100%>	<B評価> 民間委託を導入した3校の調理業務が順調に進み、次の委託に向けた準備も予定どおり進めることができたので期待どおり。 <今後の課題等> ・平成27年度に委託を導入する3施設への周知、業者決定のための準備を行う。
	事業名 学校給食民間委託事業					
4	教育総務課 基本方針 II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます 2 就学援助の推進	奨学金返還金の未納が多額になっている状況のため、未納を減らすための対策を講じて未納額を前年度より減らす。	・休日返還窓口を年間3回開設するとともに臨宅徴収を実施する。 ・連帯保証人への通知を徹底する。	未納額を前年度より減少させる。	<達成率95%>	<B評価> 返還請求を行い、未納額を減額できたので期待どおり。 <今後の課題等> ・引き続き未納額を減らすための対策を強化する必要がある。
	事業名 奨学金貸付事業					

2. 学校教育課・教育センター

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどのようなのか)	評価/今後の課題等
1	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 1 生きる力を育む教育指導の充実	学力の向上	○本市独自の学力向上施策K4-K1Dの推進 ・K4校内研修プログラムの活用推進 ○学習状況調査等の検証結果に基づく学習改善の推進 ・各校の課題解決に向けたきめ細かな指導・支援 ・県教委の学力向上委嘱校(飯能西中)の指導強化 ○教育機器を活用した授業づくりの推進	○「教育に関する3つの達成目標」県目標値<読み書き95% 計算95%>の達成	<達成率 92%> ○「教育に関する3つの達成目標」 ・読み書き 小93.7%、中91.3% 小中達成率92.5% ・計算 小95.1%、中89.6% 小中達成率92.4% ・飯能西中で20回研究授業・34人指導者派遣 ・小4向け算数ワークシートの作成・全児童配布 ・K4校内研修プログラムを10校で実施(来年度で全校実施予定)	<B評価> 達成目標である95%に近い結果が得られたため概ね期待どおり。 <今後の課題等> ・K4の視点による授業改善を重点化(飯能西中の研究成果を各校に広げていく)
	H21からの継続目標 事業名 学力向上プロジェクトの推進					
2	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 1 生きる力を育む教育指導の充実	飯能を好きな(誇りに思う)児童の育成	○郷土学習資料「私のふるさと飯能」 活用の一層の推進 ・活用事例集第2版の作成など ○学習林活用教育の充実 ・学習林フォーラムの実施方法の検討 ○総合学習等、地域人材の活用による教育の推進 ○市制60周年記念「飯能市中学生『夢・未来』議会への協力(議会事務局所管)	○飯能を好きな(誇りに思う)児童の増加(前年比)	<達成率98%> ○飯能を好きな(誇りに思う)児童 5年生: 70.8% (前年比△6.8%) 達成率94.4%達成 6年生: 76.7% (前年比+4.0%) 達成率102.3% 小中合計: 達成率98.4% ・郷土学習資料「私のふるさと飯能」活用事例集第2版3月配布予定	<B評価> 飯能を好きな児童が育っており期待どおり。 <今後の課題等> ・学校と郷土館との連携(出張事業の拡大) ・学校と図書館と連携(調べ学習の充実)
	H23からの継続目標 事業名 郷土を愛する教育の推進					
3	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 1 生きる力を育む教育指導の充実	テレビ会議を活用した授業の導入	○関東甲信越地区放送教育・視覚研究大会に向けた取組 ○テレビ会議システムを活用した授業を市外・県外・海外に広げる方策の検討	○授業実践実施校の年度末評価において、肯定評価50%	<達成率155%> ○授業実践実施校の年度末評価において、肯定評価93.1%	<S評価> 授業実践校から高い満足度の評価が得られ、期待を上回る。 <今後の課題等> ・学校の年間指導計画へに位置づけと実践の継続
	H24からの継続目標 事業名 教育機器を活用した授業づくりの推進					
4	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 1 生きる力を育む教育指導の充実	飯能市全体としていじめ根絶に向けた取組の推進	○いじめアンケートの実施 ○各校への生徒指導・教育相談に係る訪問を活用したきめ細かな支援 ○第2回「飯能市いじめゼロ子ども会議」の開催 ・関係諸団体との連携 ・取組やその成果の情報発信 ○各校の全教育活動をとおした取組への指導 ○家庭や地域への啓発	○いじめの根絶に向けた宣言等の発信	<達成率100%> ○第2回「飯能市いじめゼロ子ども会議」実施後、児童会・生徒会等の取組を・各校が学校だより等で保護者・地域に発信 ・全校の取組を冊子にまとめ、各校に配布	<B評価> 会議に基づいた各校の取組を共有でき、期待どおり。 <今後の課題等> ・いじめ防止対策推進法の市及び学校の基本方針等の策定
	新規目標 事業名 いじめの根絶に向けた取組の推進					

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどのようなのか)	評価/今後の課題等
5	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 1 生きる力を育む教育指導の充実	不登校児童生徒の減少 新規目標 不登校の減少に向けた取組の推進	○教育センターと学校の連携強化 ・指導員、スクールソーシャルワーカーの学校・家庭への積極的派遣 ○教育センター職員の資質向上 ・スーパーバイザーを中心とした所内研修実施 ○教育センター教職員研修の実施 ○中1ギャップ対策 ・小中連携事業の充実 ○小1プロブレム対策 ・接続プログラムの研究実践	○不登校生徒の在籍率の減少(前年比)	<達成率105%> ○2学期末現在、不登校児童生徒数 小：5名(在籍率0.13%) 中：30名(在籍率1.53%) 【参考】 小：前年0.31% 中：前年1.76% ・学校訪問/相談員24回、スーパーバイザー11回 ・所長講話4回	<A評価> 不登校生徒の在籍率を減少させることができ、期待を上回る。 <今後の課題等> ・教育センター職員の人事異動に伴う体制の再構築 ・引きこもりがちな児童生徒への対応を重点化
	事業名					
6	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 1 生きる力を育む教育指導の充実	体力の向上 H20からの継続目標 体力向上の推進	○新体力テスト実施、分析(4・5月) ○体力向上推進委員会の充実 ・体力テスト検証結果に基づいて、各校へきめ細かな指導(年間) ・教職員と保護者への啓発 ○市教育研究会体育部会との連携 ・授業研究会への指導主事の派遣 ○新体力テスト課題種目の再測定と評価(3学期)	○「生きる力と絆の埼玉教育プラン」の(埼玉県教育振興基本計画H21~25)目標値(平成25年度)達成 体力テストの絶対評価で上位3ランク(A、B、C)の児童生徒の割合(一人一人の体力向上の状況を示す指標) 小80% 中85% ○「ゆとりとチャンスの埼玉プラン」の指標達成(平成25年度) 体力テストの結果で全国平均を上回っている項目数の割合(全国の中で高い水準を示す指標) 小80% 中80%	<達成率90%> ○体力テストの絶対評価で上位3ランク(A、B、C)の児童生徒の割合 小79.6%→達成率99.5% 中83.8%→達成率98.6% ○体力テストの結果で全国平均を上回っている項目数の割合(同程度) 小56.6%→達成率70.8% 中63.6%→達成率79.6% ・新体力テスト再測定による課題種目の向上率91%	<B評価> 目標を概ね達成したので期待どおり。 <今後の課題等> ・課題種目 小：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び 中：握力、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン
	事業名					
7	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 2 幼稚園・学校経営の充実	防災教育における児童生徒の「状況適応能力」の研究 新規目標 児童生徒の「状況適応能力」を育成する防災教育の推進	○「状況適応能力」の向上に視点を当てた防災教育の現状分析 ・児童生徒の「状況適応能力」の達成指標の検討 ○防災マニュアルの改訂 ○地区行政センターと連携した防災訓練の実施を支援 ○関係機関等との連携	○研究のまとめ作成(3月)	<達成率100%> ○研究のまとめ完成(2月) ・関係機関と連携した児童生徒の「状況適応能力」の育成のための研修会実施(2月)	<B評価> 目標を達成したので期待どおり。 <今後の課題等> ・研究(2年次)の推進
	事業名					
8	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 2 幼稚園・学校経営の充実	「連携型」小中一貫教育の研究 新規目標 中学校区における9年間で育てる「子ども像」を明確化した取組の推進	○2校で研究の推進 ・教育課程に位置付けた連携事業の実施 ・学校担当の指導主事の訪問指導・支援 ・先進地視察	○研究のまとめ作成(3月)	<達成率100%> ○新たに推進委員会設置 ・南高麗中学校区 音楽出前授業(5・6年対象、月2回)、指導系統表作成中 ・名栗中学校区 AETの幼稚園訪問、小6・中2合同授業(英語) ○先進地視察：茨城県つくば市(11/22・23)	<B評価> 研究推進が着実に進められており期待どおり。 <今後の課題等> ・他中学校区にも小中一貫教育の視点による教育について情報提供
	事業名					

3. 生涯学習課

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	生涯学習課	子ども大学(仮称)を平成26年度に開校する。	・平成26年度開校に向けて、駿河台大学等の関係機関との調整を図り、実施要項を作成する。 ・実施時期によっては今年度中に生徒を募集する。	平成26年度に開校できるように実施要項等の詳細を確定する。	<達成率110%> 駿河台大学等の関係機関と打合せし(6回)、実行委員や開催内容(案)を確定した。 また、子ども大学さやまを視察し、開催に際しての注意事項等のアドバイスをいただいた。	< A 評価 > 開催に向けて準備ができたので期待を上回る。 <今後の課題等> 実施に向けて準備を進めているが、今後PR活動の工夫が重要である。
	基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実 新規目標	子ども大学(仮称)開催準備				
2	生涯学習課	青少年育成飯能市民会議と各地区青少年健全育成の会との関係を整備する。	・各地区青少年健全育成の会の活動状況を調査する。 ・方針を固め、各団体に説明を行う。 ・来年度から新たな体制で活動できるように各団体と連絡調整を密にする。	青少年育成飯能市民会議と各地区青少年健全育成の会を整備し、補助金の整理をする。	<達成率100%> 来年度から、各地区青少年健全育成の会への補助金は、青少年育成飯能市民会議から各地区の状況を考慮して支出することとした。 地区健全育成連絡会において各健全育成の会に説明を行った。	< B 評価 > 達成目標を概ね達成したので期待どおり。 <今後の課題等> 各青少年関係団体が、さらに連携・協力して、効果的な運営をしていくことが必要である。
	基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 4 学習成果の還元 新規目標	青少年育成団体の整備				
3	生涯学習課	若い世代を取り込み、今まで以上に世代間交流を図れる生涯学習フェスティバルを実施する。	・昨年度はスタンプラリーを実施するなど子どもの来場者数を増やすことはできた。しかし、中学生から大学生までの世代の関わりが少ないので、その世代に参加・来場してもらうよう力を入れ、様々な世代が交流できるようにする。	・中学生から大学生までの世代に参加してもらう。 ・一般来場者について、500人以上を目指す。	<達成率100%> 高校生のボランティアの参加により、当日の受付付近は活気があったが、思ったより若い世代の参加が少なかった。 また、新たなアイデアにより開催時期等にふさわしい内容で実施することができ、来場者は550人だった。	< B 評価 > 高校生ボランティアも関わり世代間交流が図られたので期待どおり。 <今後の課題等> 常に見聞を広め、職員も新しいアイデアを持ち、さらに良い内容になるよう工夫していきたい。 また、関連事業との関係や全地域からの集客などの課題があり、一つ一つ検討して次年度へつなげたい。
	基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実 H20からの継続目標	生涯学習フェスティバルの実施				
4	生涯学習課	平成21年度から5ヶ年計画で、市内の植物の生育状況を調査してきたものを最終年度である本年度は、その調査結果を報告書として取りまとめる。	調査員とともに市内各所において調査を実施した植物調査の補足調査を実施する。 過去の調査結果を基に植物の貴重な種、群落を把握する。 調査員と十分検討を重ね、報告書の作成作業を行う。 限られた予算の中で、庁内での印刷・製本ができるよう検討する。	外注委託を行わず、報告書を100部程度作成する。	<達成率80%> 補足調査を2回行い、河川敷や水田における秋の希少種の生態確認を行った。(10/21、11/18) また、報告書の作成に向け、市内を8地区(飯能・精明・加治・南高麗・吾野・東吾野・原市場・名栗地区)に分けて取りまとめを行った。 報告書の構成等について、編集会議を行った。(1/25、2/22、3/10) 報告書の印刷原稿まで完成したが、100部の印刷・製本まで至らなかった。	< C 評価 > 報告書が作成できなかったため期待を下回る。 <今後の課題等> 市内における希少な植物の生態系などを把握することができたが、今後この報告書を基礎資料として、環境保全や植物の保護等に関心を高めていただけるよう活用していきたい。
	基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実 新規目標	植物調査の実施及び調査成果のまとめ				

No.	重点施策名	目標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
5	生涯学習課	国庫補助事業として実施した3箇所の発掘調査について、室内調査を進め、「飯能の遺跡(41)」としてまとめる。	四半期毎に進捗状況を確認し、実施計画を見直しながら進める。 埋蔵担当で月に1回程度の打ち合わせを行い、課題や問題の共有化を図り、協力体制を構築しながら進める。	国庫補助事業関連については、3遺跡の調査成果をまとめて「飯能の遺跡(41)」を刊行する。	<達成率110%>	<A評価>
	基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実 H24からの継続事業	区画整理事業に伴って、平成23・24年度に発掘調査を実施した遺跡の室内調査を計画的に進め、平成27年度に報告書が刊行できるようにする。 室内調査の10カ年計画に沿って、計画的に調査を進める。	平成25年度予算作成時の10カ年計画を基本に推進していく。 発掘調査の現場数による影響を多分に受けるため、絶えず業務は前倒しで実施していく。	区画整理事業関連については、加能里遺跡42・43・46・47次調査分の出土遺物接合・復元を終了し、遺物実測に着手する。 市単独事業については、「飯能の遺跡(42)」の版下の半数を完成させる。	11月に国庫補助事業の予算が不足し、増額交付を受ける2月まで、事業を止める必要が生じ、更に民間開発事業に伴う発掘調査が入ったため、室内調査の内容の変更を余儀なくされた。 平成26年度刊行予定の「飯能の遺跡(42)」の掲載遺跡を「飯能の遺跡(41)」として報告書を刊行した。当初「飯能の遺跡(41)」に掲載予定の3遺跡については、全体の6割程度は整理作業を進めることができ、全体としては年度当初の計画を達成することができた。 区画整理事業関連の室内調査については、当初の計画通り順調に進んでいる。	予定どおり報告書を刊行し、室内調査が実施できたので期待を上回る。 予算編成時や年度当初計画時に関係各課と事業の予定期日等を調整しているが、開発部局の予定が変更となった場合、本担当の事業もその変更に合わせて強く求められるために、当初の予定計画通りに進めることが難しい。 事業量に余裕があれば対応も容易になるが、その事業量も市内の開発状況次第のため解決が難しい。
	事業名 出土品等の計画的な室内調査の実施					

4. 体育課

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
1	<p>体育課</p> <p>基本方針</p> <p>V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます</p> <p>1 健康体力づくりの充実</p>	<p>全国から訪れる多くの参加者に満足してもらえるよう、安全で快適なツアーマーケットを実施する。また、第12回大会に向けた企画案を策定する。</p>	<p>・東日本大震災復興応援として開催する。</p> <p>・参加者2万人を目指し、広く大会周知を進める。</p> <p>・実行委員会及び各部会を開催する。</p> <p>・効率的な大会運営を検討する。</p>	<p>・参加費の一部を義援金とする。また、募金箱を設置する。</p> <p>・市内高等学校、新規立地企業、県内及び鉄道沿線自治体等にPRを行う。</p> <p>・各部会で役員と検討を進める。</p> <p>・大会運営の改善を進める。</p>	<p><達成率110%></p> <p>・コース部会によるコース下見を実施し、12月に12回大会のコースを決定した。</p> <p>・2月に統括部会、実行委員会を開催し、参加者20,000人を目指した大会計画が決定した。</p> <p>・3月1日(土)から事前申込の募集を開始した。</p> <p>・新たな参加者の確保を目指した事業(ヤマネス、近隣自治体ご当地グルメ等)を検討し準備を進めた。</p>	<p><A評価></p> <p>新たな企画を取り入れることで、前回を上回る参加があり、期待を上回る。</p> <p><今後の課題等></p> <p>・朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社、埼玉県オーキック協会等の主催団体、並びに後援団体、協力団体との連絡調整を確実にし、準備を進めていく必要がある。</p> <p>・目標人数20,000人の達成に向けた実行委員会を挙げた募集活動を展開していく必要がある。</p>
	<p>H20からの継続目標</p> <p>事業名</p> <p>飯能新緑ツアーマーケット</p>					
2	<p>体育課</p> <p>基本方針</p> <p>V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます</p> <p>1 健康体力づくりの充実</p>	<p>安全で競技性の高い第12回奥むさし駅伝競走大会を実施する。</p>	<p>・申込チームの増加に伴い、参加チームの決定方法を検討する。</p> <p>・競技車両の運行計画について、安全面から検証する。</p> <p>・実行委員会及び各部会を開催する。</p> <p>・効率的な大会運営を検討する。</p>	<p>・競技性を重視した参加チーム数の上限220チームの決定。</p> <p>・競技上の事故ゼロを目指す。</p> <p>・各部会で役員と検討を進める。</p> <p>・大会運営の改善を進める。</p>	<p><達成率100%></p> <p>・出場チームの上限220チームに対し、241チームの応募があったため、競技規程に基づき選考した。</p> <p>・前回大会の反省を踏まえ、各部会で大会運営の検討を行った。</p> <p>・大会役員、競技役員、走路・周辺警備員及び多くの関係団体の協力により、競技上の事故も無く、盛大に開催することができた。</p>	<p><B評価></p> <p>目標を達成でき、期待どおりであった。</p> <p><今後の課題等></p> <p>・申込チームの増加に伴い、参加チームの選考を基準に則り進めていく必要がある。</p> <p>・12回大会の反省点を整理し、運営方法の改善を進める。</p> <p>・引き続き交通規制の事前周知を広く行っていく。</p>
	<p>H20からの継続目標</p> <p>事業名</p> <p>奥むさし駅伝競走大会</p>					
3	<p>体育課</p> <p>基本方針</p> <p>V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます</p> <p>1 健康体力づくりの充実</p>	<p>「ホッケーのまちづくり」の理念及び基本目標を達成するため、教育委員会が担う各事業を推進する。</p>	<p>・懇話会、中学校部会を開催する。</p> <p>・専門指導員を配置し、学校、クラブと調整を図り巡回ホッケー教室を開催する。</p> <p>・全中学校で体育授業のホッケー必修化を進める。</p> <p>・ホッケーのPR活動を実施する。</p>	<p>・懇話会委員と検討を進める。</p> <p>・専門指導員と職員による巡回ホッケー教室の開催。</p> <p>・各中学校体育主任と連携し、指導を進める。</p> <p>・市ホームページ、市民活動センター、メディアを活用したPR活動を実施する。</p>	<p><達成率110%></p> <p>・巡回ホッケー教室 小学校：12校 中学校：8校 高校：1校 中学生放課後：1クラブ ・全8中学校で先生との事前調整を行い、中学1年生5時間を基本とし授業を行った。</p> <p>・市HPや図書館のホッケーコーナーを利用し、ホッケーのまち飯能をPRした。</p> <p>・ホッケーのまち飯能推進懇話会を開催し、競技団体、学校関係者とともに意見交換を行った。</p>	<p><A評価></p> <p>ホッケーのまちの基盤づくりの施策を講じたため、期待を上回る。</p> <p><今後の課題等></p> <p>・全中学校でのホッケー授業について、引き続き学校関係者と調整を進める。</p> <p>・「ホッケーのまち飯能」推進計画に基づき、競技団体、学校関係者、教育委員会のそれぞれの役割に応じた主体的な取組を促していく必要がある。</p>
	<p>新規目標</p> <p>事業名</p> <p>ホッケーのまちづくり</p>					
4	<p>体育課</p> <p>基本方針</p> <p>V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます</p> <p>2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上</p>	<p>都市公園運動施設のサービス向上を図るため、指定管理者による管理運営を進める。</p>	<p>・指定管理者であるNPO法人飯能市体育協会と連絡調整を進める。</p> <p>・2期目の指定管理者選定に向け、公募を行う。一括導入する都市公園の所管課である都市計画課と調整を行う。</p>	<p>・指定管理者との月例会議で検討を行う。</p> <p>・指定管理者候補者の募集を行う。</p> <p>・指定管理者選定委員会に諮る。</p> <p>・12月定例会に指定議案を提出し、指定管理者を決定する。</p>	<p><達成率105%></p> <p>・市民球場の休場月である12月と3月を開場した。</p> <p>・美杉台公園3施設の月曜日開場を行った。</p> <p>・市民体育館事務室窓口改修工事を行った。</p> <p>【指定管理者更新事務】</p> <p>・10月10日の指定管理者選定委員会で候補者が選定され、12月定例会の指定議案の議決を経て、2期目の指定管理者を指定した。</p> <p>・指定管理者との協議を進め、基本協定書を3月末日に締結した。</p>	<p><A評価></p> <p>計画どおりに目標を達成し、市民サービスの向上に向けた取組ができたため、期待を上回る。</p> <p><今後の課題等></p> <p>・都市公園運動施設において、利用者ニーズを捉えた自主事業を進める。</p> <p>・26年度から都市公園を含めた業務範囲となる中で、一体的な管理運営を進めていく必要がある。</p>
	<p>新規目標</p> <p>事業名</p> <p>都市公園運動施設の指定管理</p>					

5. 図書館

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
1	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 1 生涯学習推進体制の整備	平成25年7月に新図書館を開館させるための準備を行う。	・新図書館の管理運営に必要な各種契約の締結を行う。 ・臨時職員の採用を行う。 ・新図書館への資料移転を行う。 ・図書館システムの更新を行う。 ・蔵書点検を行う。 ・新図書館開館記念行事を企画・開催する。 ・職員の各種業務研修を行う。	・7月までに清掃・警備・各種設備保守委託契約を締結する。 ・4月に臨時職員4名の採用を行う。 ・5月までに旧図書館から新図書館への資料移転(19万冊)を行う。 ・6月に図書館システムの入替え並びに蔵書点検(26万冊)を実施する。 ・7月に開館記念講演会を開催する。 ・5～6月に体験型を含め5種類以上の業務研修を実施する。	<達成率105%> ・予定した事業についてはすべて達成指標を満たすことができた。 ・職員の業務研修については、目標を上回る研修実施ができた。	< A 評価 > すべて予定どおり達成することができ、期待どおり。 <今後の課題等> 職員の図書館業務研修は継続して定期的を実施することが必要であるが、臨時職員については受講機会を確保することが難しい。
	事業名 新図書館の開館					
2	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 1 生涯学習推進体制の整備	各種資料、情報源を提供し、利用者の調査・研究活動を支援する態勢を整える。	・新図書館の蔵書を充実する。 ・雑誌スポンサー制度を導入する。 ・寄贈資料を有効活用する。 ・オンラインデータベースの使用契約を行う。 ・音楽配信サービスの使用契約を行う。 ・インターネット利用可能な館内環境を整える。	・年間受入目標冊数を1万冊とする。 ・雑誌スポンサー3団体、寄付額24万円を目標とする。 ・寄贈資料の有効活用システムを構築する。 ・7月に4種類以上の有料データベースを導入する。 ・7月に音楽配信サービスを導入する。 ・7月にタブレット型PCの貸し出しサービスを導入する。	<達成率110%> ・3月末までの受入冊数は1万冊を超え受入冊数目標を達成した。 ・雑誌スポンサー事業は目標額の75%の達成率であったが、不足額の約51倍の寄附金をいただき蔵書の充実が図れた。 ・ボランティアの協力により寄贈資料リサイクルを実施した。 ・その他の事業も目標を達成した。	< A 評価 > 達成指標のほか新サービスを開始することができ期待を上回る。 <今後の課題等> 新たな雑誌スポンサーの確保に向けて、地元企業・団体から問い合わせがもらえるように制度のPRをしていくことが必要。 データベース等は導入できたが、今後活用してもらうための方策が必要。
	事業名 資料・情報提供の充実					
3	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	郷土館・議会図書室と連携し、利用者の調査・研究活動を支援する態勢を整える。	・郷土館と連携した企画展示を開催する。 ・議会図書室を窓口とした資料・情報提供サービスを開始する。	・郷土館の協力により7月に開館記念展示を開催する。 ・飯能に関する新聞記事見出しを定期的に議会事務局に配信する。 ・図書館で購入した地方自治・地方行政・議会運営に関する図書のリスト・内容紹介を議会事務局に配信する。 ・議会図書室経由での資料配送サービスを実施する。	<達成率75%> ・郷土館・体育課との連携事業は順調に実施できた。 ・飯能に関する新聞記事見出しの配信が実施できなかった。 ・その他の議会事務局との連携事業は目標を達成した。	< C 評価 > 連携事業が一部未実施であったため期待を下回った。 <今後の課題等> 郷土館・体育課との連携事業は順調だが、議会図書室との連携事業は実施できなかったり、実施できても内容が不十分のものが多く、更に充実させていく必要がある。
	事業名 郷土館・議会図書室との連携					
4	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	飯能に関するニュースを収集・整理して公開する。	・飯能に関する新聞記事のスクラップを行い、見出し記事をデータ入力する。 ・文化新聞のバックナンバーを電子書籍化し、記事を検索できるようにする。	・飯能関連新聞見出しデータを図書館Webサイトで公開する。 ・緊急雇用創出基金事業として25年8月～26年3月に文化新聞電子化を行う。	<達成率90%> ・文化新聞の過去2年分の飯能に関する記事見出しデータを図書館ホームページで公開した。 ・文化新聞以外の飯能に関する新聞記事はスクラップしたがデータ入力に着手できなかった。 ・昭和27年から昭和59年までの文化新聞を電子書籍化し、平成26年4月からインターネット上で公開する予定。	< B 評価 > 一部着手できなかった項目があったが、ほぼ期待どおり。 <今後の課題等> 文化新聞以外の新聞についても記事見出し情報の公開をしたいが、そのためには見出しデータの入力を行い電子化することが必要となる。
	事業名 飯能に関するニュースの収集					
5	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	図書館ボランティアを募集し、協働して図書館運営を行う。	・新図書館ボランティアグループの活動を支援して、図書館の運営に参加してもらう。 ・図書館協議会委員のうち一名についてボランティアグループから推薦を受ける。	・図書館の各種行事への企画運営に参加してもらう。 ・平成25年度第3回図書館協議会への出席を目的に委員を推薦してもらう。	<達成率 110%> ・メンバーが映画会、おはなし会の開催、図書館ニュースの編集などの事業を中核となって企画・運営したほか、読書グループの立ち上げ、生涯学習フェスティバルへの参加など新規の活動にも意欲的に取り組んだ。 ・図書館協議会委員にグループの代表者を1名選出した。 ・ボランティア向けの図書館情報研修会を3回実施した。	< A 評価 > 積極的な協働運営により目標達成がスムーズであったため期待を上回る。 <今後の課題等> 文化新聞以外の新聞についても記事見出し情報の公開をしたいが、そのためには見出しデータの入力を行い電子化することが必要となる。
	事業名 図書館ボランティアとの協働					

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
6	図書館	「飯能市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館・保育所などと連携して読書活動を推進する。	・幼児・児童・生徒に図書館の使い方を知らうため、図書館見学や出前講座などを実施する。 ・図書主任・図書整理員・保育士に図書館の利用法について理解してもらうための機会を設ける。	・図書館見学10団体以上実施、出前講座3団体以上実施を目標とする。 ・ブックフェア会場として図書館を使用するほか、図書主任・図書整理員・保育士などを対象として図書館見学会を開催する。	<達成率 100%> ・図書館見学・出前講座は目標値を達成した。 ・6月に学校図書主任を対象とした新図書館の説明会を実施したほか、10月に校長研修会で読書が児童に与える影響について講演を行った。 ・3月に調べ学習用図書セットを購入し学校への貸出しを開始した。	<B評価> すべて目標どおりに達成できたため期待どおり。
	基本方針 IV 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実 新規目標 事業名 学校図書室等との連携					<今後の課題等> 学校との連携は徐々に拡大の方向にあるが、保育所との連携は具体的な連携の仕方を含めて今後の課題である。

7. 公民館

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
1	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	地域課題や社会の変化に応じた公民館の講座を開催する。	地域の特性を生かした講座の開設するため、市民の要望や地域課題を捉え、市民満足度の向上を図る講座を計画する。また、講座の推進に当たり企画書を作成する。	市民の要望や地域課題を捉えた新たなシリーズによる講座を1講座以上開催する。	<達成率100%> 中間報告のほか、国宝と歴史のまち探訪、帰宅困難者体験ウォーキング、野菜いっぱい創作料理講座、太極拳体験講座、交通安全教室、施設見学会、機織り体験講座などを開催した。	<B評価> それぞれの館で工夫を凝らして開催することができ、期待どおり。 <今後の課題等> 各種講座のマンネリ化傾向があるため、新たな団体・機関等の連携による事業展開が必要である。
	事業名 H22からの継続目標 学級講座の充実					
2	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	生涯学習の推進のため、市民への情報発信を積極的に行う。	公民館と生涯学習課、体育課及び他部局との連携を図る。地域住民が講座に興味を持つような情報発信を行う。	地区行政センター(公民館)だよりによる市民周知する。公民館独自の出前講座を2回～3回程度及び生涯学習課と連携した出前講座を1回以上開催する。	<達成率90%> 公民館だよりの発行のほか、申告講座、交通安全出前講座、防災講座、リサイクル講座、出張名作映画会などを開催した。生涯学習課と連携した出前講座は実施できなかった。	<B評価> 他課との連携を深める必要はあるが、事業の情報発信が図られており概ね期待どおり。 <今後の課題等> 4月から「広報はんのう」は月1回の発行となったため、ホームページの活用や公民館だよりなどの充実により情報発信を積極的に行う。
	事業名 H22からの継続目標 学習相談体制の充実					
3	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	学校や青少年関係団体、地域の団体などと公民館が連携した事業を行う。	学校や各種団体連携した事業推進のため、関係機関との連携強化をより一層行い、協力して進められる事業を計画する。	継続事業を推進するとともに、年度内に新たな講座を1講座以上開催する。	<達成率 95%> 加治東ふれあい広場と連携した介護関係講座や児童館との連携による子ども映画会、体験交流会として工作、料理、天体観察を実施した。ロッククライミング教室、名栗広場との共催事業不思議で楽しい山の話講座などを開催した。	<B評価> 目標を概ね達成できたので期待どおり。 <今後の課題等> 学校や青少年関係団体との連携を図るため、今後は、あらゆる機会を設け積極的に学校等関係機関との連携を進めたい。
	事業名 H24からの継続目標 学校との連携					
4	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	ウォーキング事業を積極的に実施し、新たな参加者の拡大を図る。	身近なコースを活用した参加しやすい講座を開催する。新たな参加ができる講座を検討するとともに、新たな参加者の目標値を定める。	新たな参加者の目標値を達成する。	<達成率 105%> 様々なハイキング、ウォーキング事業を単独事業として、また、各館との共催事業として実施した。 新規参加者については、全体数では、目標値を達成したが、各々の館の達成値については、達成できなかった館もある。 全体の目標値は、418人であったが、681人の参加を得た。	<A評価> 目標値を上回る参加者があったため期待を上回る。 <今後の課題等> 新たな参加者やリピーターを増やすためには、コース内容や開催時期などの工夫が必要である。また、他地区との合同事業や公共交通機関の利用なども取り入れたコース設定を行っていくことも今後の検討課題となる。
	事業名 H22からの継続目標 健康増進講座の充実					

8. 郷土館

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	郷土館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実	特別展「飯能の災害史(仮称)」の充実を図る。	地域で起こった過去の災害について知り、地域防災に寄与できるように特別展の内容を充実するとともに、多くの人に見ていただけるよう広報活動等を積極的に展開する。	入館者のアンケートによる満足度75%以上、展示を見て防災意識が変わった人の割合を70%以上とする。	<達成率 120%> 49日間の会期中、のべ5,680人、1日平均119.6人と多くの入館者があった。これまでに比べ若い世代の入館者が多かった。アンケートによる満足度は89.6%、防災意識を持った人が85.7%と予想以上に好評で、新聞等にも多く取り上げられた。	<S評価> 目標値を顕著に上回り、かつ新聞紙上にも取り上げられ、期待を上回る。 <今後の課題等> 引き続き、地域の課題に直結するテーマを選び、内容が充実した特別展とするように心がける。また、宣伝等も積極的にすすめる。
	事業名 特別展の充実					
2	郷土館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実	名栗くらしの展示室を設置し、体験学習会等の事業を開始する。	名栗地区行政センター2階に名栗くらしの展示室を設置し、市民向けの体験学習講座を開催する。	名栗くらしの展示室の完成と民具を用いた市民向け体験講座の実施。	<達成率100%> 下半期になって展示工事の手続き等で事業が遅れたが、1月以降、重点的に業務を行い、展示室は予定通り完成した。また、3回の機織り体験講座を実施し、毎回30人程度の参加者を得た。	<B評価> 計画どおりに進めることができ、期待どおり。 <今後の課題等> 26年度に正式開室する。当館と名栗公民館共催による体験講座の実施のほか、エコツーリズムや地域の団体等により積極的に利用されるように促す。
	事業名 名栗くらしの展示室の設置					
3	郷土館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実	古文書、民具、古写真などの収蔵資料の整理を推進する。	収蔵資料の整理をすすめることは、そこから情報をひきだすことでもあり、展示・学習会の充実、市民からの問い合わせなどの対応などに活かせ、市民サービスの向上につながる。整理作業に職員の時間がなかなか割けない状況だが、計画的に時間をとり、整理をすすめる。	収蔵資料の整理をすすめる、古文書250点以上、古写真100点以上のカードを作成し台帳に登録する。さらに約6,000点の民具の分類を行い登録する。	<達成率80%> 民具分類のデータ入力チェックはできなかった。 古写真は合計110点の整理ができ目標を達成したが、古文書については100点しか整理が進まなかった。	<C評価> 収蔵資料の整理がはかどらず、期待を下回る。 <今後の課題等> どうしても他の事業に押され回しになってしまった。今後も、整理作業を意識的に進める必要がある。
	事業名 H20からの継続目標 収蔵資料整理の推進					
4	郷土館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実	ホームページ等を活用し、地域の歴史情報を積極的に発信する。	地域の情報センターとしての郷土館の機能強化のために、地域を再発見できる情報や地域学習に役立つ情報をホームページに掲載する。	郷土館ホームページの「地域の歴史情報」のページに新しい項目を3つ以上追加する。	<達成率90%> 10月に「飯能の災害史年表」を掲載したが、他の2項目は準備をすすめてはいたものの、掲載できなかった。しかし、館内の業務や日々の出来事を紹介する「郷土館日誌」の掲載を始めた。また、「まつくり」のページに11月は6,845件のアクセスがあり、これは市のページのうち4番目に多いアクセス数だった。	<B評価> 一部計画どおりに進まなかったが、概ね計画どおりでありほぼ期待どおり。 <今後の課題等> 現在、「地域の歴史情報」に掲載されている「まつくり」のアクセス数が非常に多いため、このような情報発信につながる項目は今後必要であり、意図的にすすめる必要がある。
	事業名 H19からの継続目標 地域の歴史情報の積極的な発信					